

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	常備消防事業（政策）					事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			09	01	01	04		要求区分 政策経費
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	行政主体
	1 消防・救急						担当課係等	消防総務課
①消防組織、施設の整備						管理係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、火災又は地震等の災害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命救助等を行える	【対象者】 市民	
【全体概要】 消防組織法第1条において「消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減することを任務とする。」とされている。主な内容は、消防防災の対応力の向上に資する施設等の整備及び知識、技術等を高めるため必要であり、災害に強い地域づくりを推進する。	【特記事項】 なし	
【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】	【平成29年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点施設耐震化 ・ 幼少年婦人防火委員会補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指令システム装置撤去工事 ・ 東署庁舎トイレ改修工事 ・ 救助用備品 ・ 幼少年婦人防火委員会補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少年婦人防火委員会補助金 ・ 民間企業消防協力隊補助金

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	24,320	3,135	510					
	歳入計（千円）	24,320	3,135	510					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	4,835	0	0					
	15 工事請負費	19,075	2,289	0					
	18 備品購入費	0	436	0					
	19 負担金、補助及び交付金	410	410	510					
歳出計（千円）（A）	24,320	3,135	510						
（参考）	当初予算額	20,781	当初予算額	2,881	伸び率(%)	決	-83.7	予	-82.2
職員人工数	0.35	0.40	0.40						
職員人件費（B）	2,692	3,148	3,040						
総事業費（A）＋（B）	27,012	6,283	3,550						

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	民間企業消防協力隊の設置 企業と連携した消防協力隊の設置数			隊	目標	0.00	0.00	1.00
					実績	0.00	0.00	0.00
	指令システム装置撤去工事 指令システムの変更に伴い装置を撤去			基	目標	0.00	1.00	0.00
					実績	0.00	1.00	0.00
成果 指標	指令システム装置撤去工事			%	目標	0.00	100.00	0.00
					実績	0.00	100.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消防行政上必要である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 防災拠点施設である消防庁舎の機能維持を図ることにより、市民が安心・安全に生活できるための事業である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 向上の余地はない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 防災・震災等に備えた、防災拠点施設の整備であり、市民の安全を維持する
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他事業との類似性がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田山明夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 消防施設等を整備することにより、消防力の充実強化を図る		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 雨貝 忠 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 消防施設の整備を推進する		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	消防団運営事業（政策）					事業類型	その他	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	
			09	01	02	03		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	行政主体
	1 消防・救急						担当課係等	消防総務課
①消防組織、施設の整備								消防団係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 広域的な大規模災害にも対応できるよう団員が連携を図り、組織的な活動を行う。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 地域の安心、安全の確保、有事の際の効果的な活動により防災力の向上が期待できる。	【対象者】 市民
【全体概要】 消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関であり、「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の安心・安全の確保に大きく貢献している。市民の安心・安全に寄せる関心は高いものとなっていることから、消防団組織の充実強化を図ることで、地域防災力が向上する。	【特記事項】 なし
【平成27年度 事業内容】 ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練 ・夜間警戒 ・安全確保の装備改正による貸与品配備	【平成28年度 事業内容】 ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練
【平成29年度 事業内容】 ・ポンプ操法大会 ・放水訓練 ・救急訓練 ・各部訓練	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	10,653	1,589	1,589
	歳入計（千円）	10,653	1,589	1,589
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	39	39	39
	18 備品購入費	9,064	0	0
	19 負担金、補助及び交付金	1,550	1,550	1,550
歳出計（千円）（A）	10,653	1,589	1,589	
（参考）	当初予算額	11,007	当初予算額	1,589
職員人工数	0.60	0.60	0.60	
職員人件費（B）	4,614	4,721	4,560	
総事業費（A）＋（B）	15,267	6,310	6,149	

種類		指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	訓練指導の実施回数		回	目標	21.00	21.00	21.00
	各訓練指導の実施回数			実績	21.00	21.00	0.00
				目標	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	各ポンプ操法大会出場分団数		回	目標	13.00	14.00	12.00
	県南北部及び市ポンプ操法大会等の出場分団数			実績	13.00	12.00	0.00
				目標	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の安心・安全確保
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の関与の程度は現状で妥当である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 向上の余地はない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域の防災力の確保に必要である
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似性がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者： 田山明夫
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 消防団員の処遇の改善を推進するとともに、団員の確保に努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者： 雨貝 忠
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 処遇の改善、訓練の充実、団員の活動能力の更なる向上を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	消防車両整備事業（政策）					事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	
			09	01	03	02		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						根拠法令	消防組織法 消防力の整備指針第13条・第14条・第15条
	(3) 安全な住環境の推進						総合計画対象	対象
	1 消防・救急						市民協働	行政主体
	⑤緊急体制の充実						担当課係等	消防総務課 管理係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 常備消防、非常備消防車両を更新計画に基づき整備し、緊急時における消防力の確保と経費の均衡を図る。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 実情に即した適切な消防体制の整備	【対象者】 市民
【全体概要】 複雑多様化する各種災害の発生が予測される中、これらの災害に迅速かつ的確に対応するためには、消防車両、救急車両の更新と、消防用機械器具の更新及び大規模な修繕・整備が不可欠となることから、年次計画に基づき、老朽化した消防・救急車両及び積載する消防用機械器具の更新を実施する。	【特記事項】 なし
【平成27年度 事業内容】 なし	【平成28年度 事業内容】 ・高規格救急車（西消防署） ・指揮車（東消防署）
	【平成29年度 事業内容】 ・指揮車（西消防署）

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	14,242	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	27,377	4,887
	歳入計（千円）	0	41,619	4,887
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	2,246	1,290
	18 備品購入費	0	39,373	3,597
歳出計（千円）（A）	0	41,619	4,887	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	43,263
職員人工数	0.00	0.55	0.55	
職員人件費（B）	0	4,328	4,180	
総事業費（A）＋（B）	0	45,947	9,067	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	常備消防の車両更新台数		消防・救急車両の更新計画に基づく更新台数	台	目標	0.00	2.00	1.00
					実績	0.00	2.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	常備消防の消防用活動車両保有数		所管する緊急車両の台数	台	目標	13.00	13.00	13.00
					実績	13.00	13.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消防力を維持するため計画に沿った実施
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 消防力の維持上妥当である
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 向上の余地はない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 消防車両の更新は必要不可欠な事業である
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 特殊車両のため類似事業との統廃合・連携はできない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コスト削減に努めているが、これ以上の余地はない
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公平である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田山明夫 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 消防力を確保するため、整備計画に基づき車両更新を行っていく		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 雨貝 忠 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 使用年数、補助事業を考慮し、計画的に車両更新を実施していく		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	消防水利整備事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防法第20条 地震防災対策特別措置法第1条の2
			09	01	03	04			
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	行政主体	
	1 消防・救急						担当課係等	消防総務課	
①消防組織、施設の整備						管理係			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 火災時に使用する消防水利を確保し、消火活動の強化を図る。 茨城県地震防災緊急事業五箇年計画に沿った消防用施設設置。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 消防水利の充足率の向上により、消防活動の強化が期待できる。	【対象者】 市民	
【全体概要】 消防法第20条により、「消防に必要な水利施設は、当該市町村がこれを設置し、維持し及び管理する」とされている。主な内容は、災害対策のため、火災時に使用する消防水利を確保し、消火活動の強化を図ることができる。	【特記事項】 なし	
【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】	【平成29年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性防火水槽新設工事 1 基 ・消火栓新設工事 4 基 ・防火水槽解体工事 2 基 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓新設工事 5 基 ・防火水槽解体工事 3 基 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性防火水槽新設工事 2 基 ・消火栓新設工事 4 基 ・消防水利等消防用備品購入 ・防火水槽解体工事

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	11,506	3,011	16,680
歳入計（千円）		11,506	3,011	16,680
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	347	0	1,080
	15 工事請負費	11,159	3,011	14,600
	18 備品購入費	0	0	1,000
歳出計（千円）（A）		11,506	3,011	16,680
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 453.9 予 329.8
職員人工数		0.80	0.80	0.80
職員人件費（B）		6,152	6,295	6,080
総事業費（A）＋（B）		17,658	9,306	22,760

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	消防水利設置件数	基	目標	5.00	4.00	6.00
	適正箇所への水利設置		実績	5.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	有効稼働率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	消防水利の使用可能率		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	■結びついている 【理由】 防災上必要である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	■妥当である 【理由】 防災上妥当である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	■余地がない 【理由】 一定の効果が上がっているが、向上の余地はない	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	■影響がある 【理由】 防災上支障をきたす	<input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	■統廃合・連携ができない 【理由】 類似性がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	■公平・公正である 【理由】 公平である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	用地の確保が困難なため、公共用地への設置を推進するとともに、設置要望のPRを進める
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 田山明夫
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 年次計画に基づき、消防水利の整備を行っていく		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 雨貝 忠
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 停滞することなく、計画的に整備を実施していく		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	消防団施設整備事業（政策）					事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			09	01	03	06		要求区分 政策経費
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	行政の関与
	1 消防・救急						担当課係等	消防総務課
①消防組織、施設の整備						消防団係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 消防団組織の再編に伴う、初動体制の充実と施設管理費の軽減を図る。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 災害対応に万全を期すとともに地域消防力の充実強化を図る。	【対象者】 消防団
【全体概要】 消防団再編後の、各地域における消防施設の充実を図るとともに適正な消防団配置を実施し、災害時の初動体制の強化を図る。	【特記事項】 なし
【平成27年度 事業内容】 ・ 詰所解体工事 ・ 消防団デジタル無線整備	【平成28年度 事業内容】 ・ 消防団詰所トイレ設置工事 2箇所
【平成29年度 事業内容】 ・ 消防団詰所トイレ設置工事 2箇所	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	63,207	4,298	5,423
歳入計（千円）		63,207	4,298	5,423
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	799	843
	15 工事請負費	1,755	3,499	4,580
	18 備品購入費	61,452	0	0
歳出計（千円）（A）		63,207	4,298	5,423
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 26.17 予 20.43
職員人工数		0.75	0.75	0.75
職員人件費（B）		5,767	5,901	5,700
総事業費（A）＋（B）		68,974	10,199	11,123

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	消防団詰所トイレ設置	棟	目標	0.00	2.00	2.00		
				実績	0.00	2.00	0.00	
	トイレ未設置の消防団詰所に計画的にトイレを設置する。		目標	0.00	0.00	0.00		
				実績	0.00	0.00	0.00	
成果指標	消防団詰所トイレ設置状況	棟	目標	0.00	2.00	2.00		
				実績	0.00	2.00	0.00	
	消防団詰所、トイレ設置状況		目標	0.00	0.00	0.00		
				実績	0.00	0.00	0.00	

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	■結びついている 【理由】 地域消防力の充実強化に必要である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	■妥当である 【理由】 施設の維持・充実のため妥当である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	■余地がない 【理由】 施設の充実のため、余地はない	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	■影響がある 【理由】 防災拠点である消防団施設の整備が推進ができなくなる	<input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	■統廃合・連携ができない 【理由】 類似事業がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 【理由】 コスト削減に努めており、これ以上の余地はない	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	■公平・公正である 【理由】 公平である	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	成果維持
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 田山明夫
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 霞ヶ浦地区の消防団詰所にトイレがないため、衛生面からトイレの整備を進める		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 雨貝 忠
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) トイレのない既存の消防団詰所へトイレ等の整備を実施していく 消防団施設の充実に向けて、計画的に整備を実施していく		